

2022年5月10日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
 (コード番号：4572)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美
 (TEL：078-302-7075)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月10日に公表した2022年12月期通期（2022年1月1日～2022年12月31日）の連結業績予想を、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正内容

2022年12月期通期業績予想の修正の内容（2022年1月1日～2022年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	1,127	△1,730	△1,744	△1,799	△133.56円
今回修正予想 (B)	1,186	△1,672	△1,685	△1,740	△128.46円
増減額 (B-A)	58	58	58	58	5.1円
増減率 (%)	5.2%	—	—	—	
(参考) 前期(2021年12月期)実績	2,017	△531	△522	△534	△42.10円

2. 業績予想修正の理由

当社は、BTK阻害剤AS-1763の中華圏における開発・商業化に関する権利を導出している中国BioNova Pharmaceutical Limitedから、2022年3月にマイルストーン・ペイメント50万ドル（58百万円）を受領いたしました。本マイルストーン・ペイメント収入の影響を創薬事業の業績予想に含めたことにより、2022年12月期の連結売上高予想を1,127百万円から1,186百万円（前回公表予想比58百万円増、同5.2%増）に、連結営業損失の予想を1,730百万円から1,672百万円（前回公表予想比58百万円の損失縮小）に上方修正いたします。セグメント別には、創薬事業の売上高予想を227百万円から286百万円に、営業損失の予想を2,031百万円から1,972百万円に修正いたします。創薬支援事業の業績予想に変更はありません。

以上の売上高および営業損失の予想に営業外損益の影響を考慮し、経常損失は1,685百万円（前回公表予想比58百万円の損失縮小）、親会社株主に帰属する当期純損失は1,740百万円（前回公表予想比58百万円の損失縮小）を計画しています。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上